

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和6年12月号

「生徒の自立を目指して」

校長 金山 達也

1年がどんどん早く感じます。みなさんの記憶にも新しい能登半島地震、未だに避難生活をされている方も多いと聞いております。その方たちにとってのこの1年は早かったのか、察するに余りあるというのが今の心境です。1日でも早く、日常を取り戻して欲しいと願うばかりです。

この1年を振り返ると、体育祭、文化祭はほぼコロナ禍以前の形で復活しました。みなさんも知っての通り、美瑛中の行事は生徒を中心にすえ、生徒の思いを大切にしながら、教職員と保護者が見守るという形で、大きな成果をあげています。特に、文化祭の保護者の皆さまからいただいたアンケートからは、「こどもが来年は何をしたいとか、こういう風にしたい等話しています。親子共々楽しみにしております」「生徒主体で計画し実行するとは？どの程度なのかと聞いていたのですが、本当に生徒が主役で、ここまでやるか！と感心感動しました！！素晴らしい！やらされている感がなくて、みんなワクワクして、おもいきりふざけてみたり、でも合唱などは真剣で、もう素敵な子どもたちだと思いました。」といった賛辞の声が多数、見受けられました。改善のご意見も含めて、こうした評価をいただけるのも、生徒の努力はもちろんのこと、美瑛中学校の活動にご理解とご協力をいただいているPTAやCS（コミュニティスクール）、保護者、教職員をはじめ、関係する全ての方々のおかげです。本当にありがとうございます。

今年、新たに取り組んでいるものがあります。生徒会本部が中心となって、「生活のきまり」の見直しを5月より、時間をかけて進めてきております。前期の生徒会役員が体育祭や文化祭の準備の合間をぬって、「生活のきまり」全般を見直し、生徒アンケートをもとに、見直す項目をいくつかに絞りました。後期の生徒会役員が、なぜこの「生活のきまり」があるのかを独自に調べながら、生徒会としての原案をつくり、再度生徒アンケートを実施しました。その結果をもとに、各学級で討議され、先日校長室で、私へのプレゼンテーション（「生活のきまり」見直しについての提案）を実施しています。しっかりと調査され、討議された内容に、感激しました。子どもたちの自立への確かな手応えを感じた瞬間でした。先行き不透明な社会を生き抜くためには、正確な情報の収集と適確な判断、そして行動力が必要です。学校生活の全ての場面において、一人ひとりの様々な力の伸長とともに、協働できる力の育成を目指して今後も邁進していきたいと思っております。

今年の漢字は「金」となりました。やはりオリンピックの影響が大きいのでしょうか。来年の漢字は「平」「和」とか「幸」「福」とかにならないかなと願っています。

福祉作文表彰

今年も福祉作文に応募し、1年生・百瀬優芽さん、土井美乃織さん、2年生・岡崎亜朱香さん、3年生・岩淵乃愛さん、上野葵さん、以上5名の皆さんが入賞し、社会福祉協議会長から賞状と記念品が渡されました。おめでとうございます。



キャリア教育講話

美宙天文台長、佐治晴夫様（理学博士）を講師に、2年生に向けて宇宙や地球の歴史についてお話しいただきました。生徒たちは天体や生物の成り立ちなど興味をもって聞くことができました。佐治先生も、そんな生徒たちに応えるように、じっくり時間をかけて説明され、質問にも丁寧にお答えくださいました。以下、生徒たちの感想です。



【先生の、「人との出会いは人生を変える事がある」という言葉は、（中略）本当にそのとおりだと実感しました。】【戦争とはほんとに意味がないことをやっていること、何年後かになると深刻な状況になる時があること今後のことを色々知れて勉強になりました。】【地球について色々聞かせてもらい、ちょっと頭が広がった感覚がしました。宇宙の外側が何なのか気になりました。】

包括的性教育

包括的性教育啓発団体 SoilU 代表の宮坂舞花様をお迎えし、「健康的な関係性について考えよう」というテーマについて、全ての学年学級で講話をしていただきました。自分と他者との間にある「境界線」や、恋愛関係に影響する要因とジェンダーについて、事前アンケートをもとにしながら、グループワーク等を行いました。他者との関係づくりについて深く考える良い機会になりました。



家庭科「調理実習」

1年生の家庭科では、学習のまとめとして調理実習を行いました。「豚の生姜焼き」と「鱈のホイル焼き」に挑戦し、調理の難しさを実感していたようです。せっかく習った技能ですので、冬休みの中でもチャレンジして、ご家族にもふるまってほしいと思っております。

